

女王蜂フェロモン PSEUDO QUEEN (スードクイーン) の使用法



スードクイーンは疑似女王蜂の意味。特定量の QMP（女王蜂上顎腺フェロモン）を放出するプラスチック製の担体女王蜂体内から分泌される 5 種類の QMP の生化学的合成物を精密にブレンドしたもの。スードクイーンを蜂群に導入すると、働き蜂はまるで生きている女王蜂のように接します。研究の結果、次のようなケースに効果があると証明されています。

1. 用途

1：割り出し群に

蜂群の分割（割り出し）にあたって、スードクイーンを挿入すれば、働き蜂は落ち着いた状態を保ち、無王騒ぎによる消耗を防ぎ、働蜂の散逸・減少を抑える。割り出し群に産卵巣脾があっても、変成王台は形成されず、別に養成した王台や女王蜂が導入されるまでの代わりを務める。

2：ポリネーションに（もっともよく使われる例）

女王蜂輸入停止とミツバチ不足で、飛躍的に利用が進んだ。ハウス栽培果樹の授粉用に、有王群と変わりなく、すべての作物に訪花させることができる。

利用可能な期間は、2 枚群で 50 日、3 枚群で 70 日ぐらい。（蜂は意外に減らない）

その間の働蜂産卵を抑える。（貸し出し蜂の場合は巣箱が戻ってきた時の巣脾の処理に困らない）産卵巣脾の無い群も有る群も、スードクイーンなしでは短期間に消滅する。

3：女王蜂の王カゴ導入に（最近わかった利用法）

飛躍的に導入成功率を高める。日令の若い女王蜂は、フェロモンの分泌が充分でなく、カゴから解放後にしばしば働き蜂に攻撃される。

王カゴにスードクイーンを差し込んだ状態にして導入すると、王カゴ内の女王蜂と外の働き蜂の間に共通の QMP が吸収されるため、解放後は女王蜂を囲むきれいなローヤルコートが形成される。女王蜂解放後は王カゴと共に除去する。

4：外役蜂の誘導・収容

活動時間帯に蜂場の撤収をしなければならない場合、巣箱 10 箱に対し 1 箱程度に蜂児巣脾 1 枚と空巣脾 2~3 枚、その間にスードクイーンをセットにして配置すれば、外役働蜂の収容が早く済むと同時にその散逸を防ぐことができる。また分封群や分封群収容後はぐれ蜂の収容でも同様。

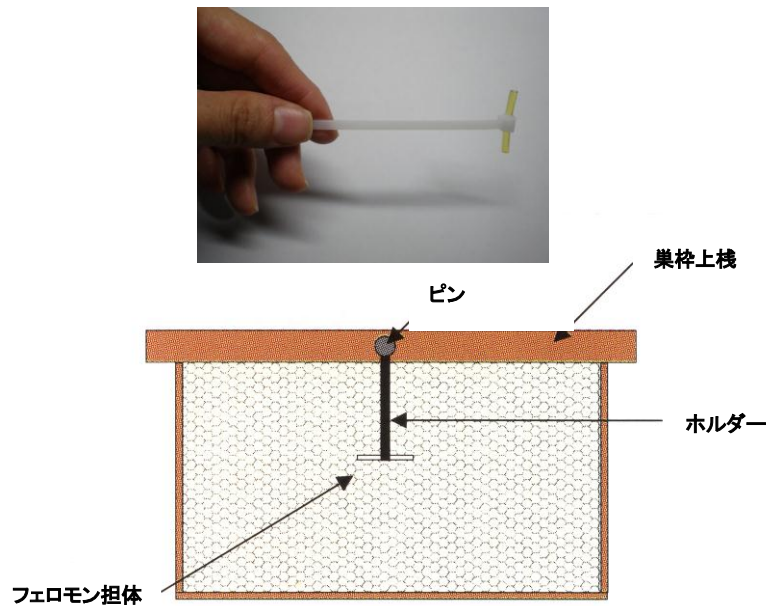
（この場合巣門近くに 1 本、巣内中心部に 1 本、計 2 本必要。またはナサノフ腺フェロモン、商品名「スォーム・キャッチ」と併用して誘導すればさらに効果的）

5：パッケージ・ビー（量り蜂）の無王輸送に

輸送中の無用の騒擾を抑えて、働蜂の消耗や蒸殺事故を防ぐ。

2. 使用方法

- 1: 同封のプラスチックのホルダーでフェロモン担体の中心部を縛る。
- 2: 導入群の中央部、巣脾のほぼ中心に担体が位置するようにホルダーで縛り、上からぶら下げる。
- 3: ホルダーの固定は画鋸のようなものが便利。
- 4: 担体の固定は巣脾に差し込むだけでもよいが、「行方不明」を避けるため目印を付けておくほうがよい。



3. 注意

- ・ 保存は0℃以下で開封後はもう一度密閉して冷蔵して下さい
- ・ 幼児の手が届かないところに保管して下さい
- ・ 他の匂いが移らないように素手や汚れた手では扱わないでください
- ・ 使用目的を果たした後はただちに取り去り、蜂場内にも放置しないでください
- ・ 群勢が強すぎる場合や長期間無王状態で経過した後は、期待する効果が現れないことがあります
- ・ 群によって稀に効果の現れ方にばらつきが出ることがありますが、その原因ははっきりしません
- ・ 長期間女王蜂フェロモンを使用した群に、別群の女王蜂を王カゴで導入する時には注意が必要です
一見して受け入れられたようでも、解放後殺されることがあるので、若齢蜂児の巣脾を1枚挿入して王台形成、すなはち無王感を群が感じていることを確認してから解放してください